

つなまち

No.182
2011.4.20 APRIL

町長施政方針	②③
平成23年度 一般会計・特別会計	④⑤
総括質疑	⑥
自由質疑	⑦
討論	⑧
平成22年度 補正予算	⑨
一般質問	⑩～⑮
条例改正・請願・陳情・意見書・人事	⑯
委員会レポート	⑰～⑱
山下先生活動報告・地震被害状況	⑲
シリーズ私もひと言	⑳

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 吉野 徹
町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。



平成23年町長施政方針

大倉トンネル今秋完成へ



施政方針を述べる上村町長

長引く経済不況のなか我が町の主要産業、農業は異常高温による米の品質低下と大幅な減収となりました。町ではJA津南町と連携し米農家の利子補給制度を創設、また商工業振興に地域商品券の補助の継続、住宅改修補助事業の予算を増額、地元業者を支援しました。平成23年度予算は健全財政を堅持、一般会計総額は民生費及び教育などの増により、対前年比9.2%増の62億7,000万円となりました。特別会計では老人保健特別会計の廃止や簡易水道会計・下水道会計・病院事業会計の減がありました。国民健康保険特別会計や介護保険特別会計の増により特別会計総額では対前年度比1.8%増となり、一般会計、特別会計合わせ、対前年比5.6%増の117億2,400万円となりました。賄い財源であります町民法人税においては上向きの企業もあり18.2%増、固定資産税では設備投資等の低迷から1.7%減の見込み、軽自動車税で本年から乗用田植機が新規課税となり10万円の増、町たばこ税9.7%減、入湯税10.4%減等から町税総額10億3,086万円を計上いたしました。国・県支出金では障がい者自立支援給付費負担金・子宮頸がん等ワクチン接種補助等で約40%増となっています。繰入金では減債基金及びふるさと支援町づくり

基金から232万円、町債では臨時財政対策債の2億6,500万円を含め対前年比46.7%増の7億3,080万円を予定しています。

次に予算編成にあたり配慮した施策の概要について申し上げます。総務部門では地域公共交通実証運行もより使い勝手のよいものとし、テレビの地デジ移行での難視聴対策を進め、消防・防災対策分野では小型動力ポンプの更新、防火水槽の整備、福祉保健分野では保健医療福祉計画、障がい福祉計画、介護事業計画に基づき事業を推進し「子宮頸がんワクチン」の接種事業では中学1年生から高校1年生に接種を計画しております。また、乳幼児への「小児用肺炎球菌ワクチン」と「ヒブワクチン」の接種事業を新たに予定いたしました。子育て支援については保育料を国基準の半額にまで減額します。農林関係では、TPPへの参加には断固反対します。今後の米づくりで最も重要なことは売れる米づくりと考え、新年度から安全・安心・食味の見た目の評価・環境をキーワードに「津南町認証制度」をスタート、支援します。品質に定評の高い津南野菜の一層のPRを図るためJAを含め取扱業者の協力をいただきながら津南野菜統一ブランドでの売り込みを図ります。農業公社では本年度、加工用ごぼうの栽培試験を行い機械化適性の検査を行います。

畜産関係では、自給率向上に飼料米の地産地消、鳥獣害防止計画を策定し電気柵の設置を進め猟銃や罠の免許取得者を育成し津南町猟友会の充実を図ります。

女性農業者には農産加工に依る地域特産品開発に期待します。

津南産「米・野菜」認証制度で統一ブランド化を推進

農地関係では、中山間地域直接支払制度、農地・水・環境保全向上対策に積極的に取り組み、県営中山間地域総合整備事業の予算確保や、外丸地区基盤整備事業の24年度事業採択にむけて取り組みます。

森林整備では、森林所有者負担のない事業を取り入れます。移住・定住、交流事業では、小・中学生の体験教育の受け入れを継続実施してまいりたいと思います。津南出身者のUターン定年帰農研修受け入れも検討してまいります。商工関係業者に向け公共事業の拡大に努力し、つなぎ資金・セーフティーネット資金の信用保証料の補助を行います。

観光では、誘客宣伝等に依り入込増の取り組みを進めます。ひまわりクーポン券発行により町内施設への誘導を図りたいと考えています。

建設関係では、大倉バイパスは降雪前の開通を目指し、国道405号では雪崩危険箇所の改善と拡幅改良、大割野地内の歩道整備の早期事業採択に強く要望してまいります。主要地方道では卯ノ木地内拡幅。一般県道では相吉地内の拡幅改善の着手、所平地内ではスノーシエッド増設の継続と集落内及び美穂地内の改良を要望。河川・砂防関係では大門川砂防堰堤防工事継続、釜堀川・貝坂地内改修と橋梁架け替えを完成、信濃川・護岸改修工事の着手を要望をいたします。急傾斜崩壊対策では芦ヶ崎地区、上郷逆巻地内の完了。中津川床固工の全体



ブランド米育ちがブランド力を生む

計画の継続を要望。治山関係では大赤沢の地すべり防止、清水川原の雪崩防止柵、見倉の谷止工、反里口の法枠工、越手の流路工を継続。町道改良舗装工事5路線、防雪工事2路線を計画。タイヤドーズ更新、住宅の克雪化継続と新たな住宅改修補助の実施、耐震診断補助継続と耐震改修補助の新設を計画。簡易水道は外丸地域を中央水道へ統合。下水道事業は下水道管耐震化改良工事の継続を予定。合併浄化槽設置事業を継続し、環境改善向上に積極的なつなぎ込みをお願い致します。

次に教育委員会関係では、特に津南中に統合を予定している上郷学区民へ不安を残さぬ配慮と学校、保護者、各PTAとの密接な連携を重視。本年4月から小学校で、中学校では24年4月から「ゆとり」「詰め込み」教育から「基礎的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力の育成」へと授業時数を増加し、教育内容を改善します。

郷土愛を育み、個性を伸ばし、知・徳・体

のバランスのとれた「生きる力」を育みます。また、複式学級への対応に町単加配を行い、英語教育の重要性から小学校の外国語活動の完全実施に向けALTを引き続き配置し、充実を図ります。中津小学校、津南小学校の耐震補強工事に加え保健室の冷房化を行います。

文化財については遺跡発掘の報告書の作成、新たな開発に伴う試掘調査を行います。町指定文化財はじめ、地域文化・伝統芸能の保存・修理・記録の作成を行います。「なじよもん」については、縄文文化に関わる観察体験実習に力点を置きます。また、施設の水利をはじめとして施設充実を検討してまいります。

病院事業では、認知症をゼロに近づけ、糖尿病専門外来を開設、生活習慣病対策、疫学調査を皆様方のご協力を得ながら進めます。新年度予算は、一般会計より1億5,000万円の財政支援をお願いし、経営の安定化を図ります。



感動の食味を生む雪室施設

平成23年度予算

一般会計

平成23年3月定例会が3月1日から23日までの会期中開催されました。町長の施政方針、教育委員任命の同意、条例改正平成22年度補正予算、平成23年度一般会計・特別会計の当初予算を審議し原案どおり可決成立しました。

62億7,000万円

(前年比9.2%増)

平成23年度一般会計予算は前年度より5億2,800万円の増となりましたが、そのほとんどが国庫支出金と町債の増額で自主財源の町税では法人町民税でわずかながら上向き、個人町民税は減収で見込んでいます。町予算の45%以上を占める地方交付税は1億円を増額見込んでいます。



上郷中学校生最後の入学式



23年度の主な事業

地デジへの対策として
共聴施設の新設

今年7月に迫った完全移行されるテレビの地上デジタル化に向けた電波遮蔽対策に取り組みます。

事業費 5,100万円

「子宮頸がんワクチン」
接種事業開始

対象者として、中学1年生から高校1年生に接種、生徒・保護者のご理解ご協力をお願いします。

津南町認証制度が
スタート

魚沼産コシヒカリも販売が伸びず転作面積が増加する状況において、「津南町認証制度」により、米の安全、安心、食味、見た目の評価、環境をキーワードとし、消費者に評価されるものとして、全生産量の40%を目標に取り組みます。

事業費 1,550万円

保育料は国基準の半額に

保育料を国基準の半額にまで減額し、保護者の負担軽減を図ります。

鳥獣被害対策

鳥獣被害対策として、電気柵設置13haを含めた推進事業に取り組みます。

事業費 912万円



頭脳プレーが進む対策

県営中山間総合整備
事業の推進

県営中山間総合整備事業として、谷内割野工区が予定されています。

事業費 3,300万円

住宅改修補助金

好評な住宅改修や下水道つなぎこみ整備など1件につき上限10万円の補助金が引き続き予算化しました。

事業費 1,000万円

上郷中学校閉校

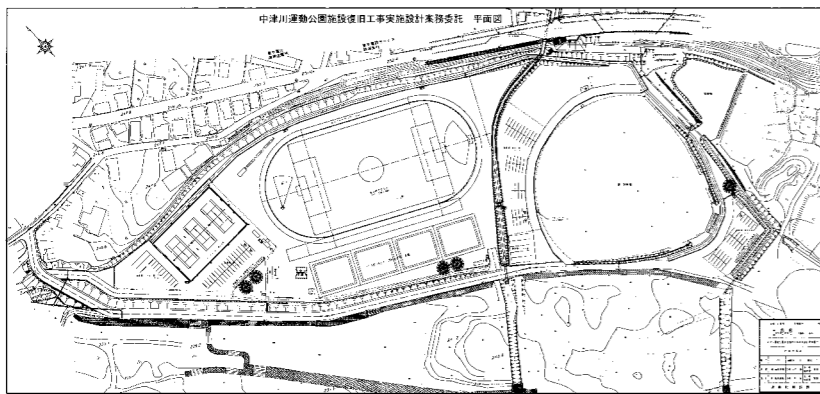
町立上郷中学校平成24年3月31日閉校に伴う閉校事業に補助します。

事業費 150万円

学習支援員・介助員の補助

町単独臨時学習支援員・臨時介助員12人分の計上により、決め細やかな教育をめざします。

事業費 2,125万円



中津川運動公園完成予想図

中津川運動公園造成工事

中津川運動公園の復旧造成工事が8年余りにわたり、国道117号大倉トンネル残土処理場としての役割が終了することにより本年度整備されます。

事業費 2億5,000万円

特別会計

54億5,435万円

(前年比5.6%増)

特別会計	予算額	前年
国民健康	11億6,120万円	10億8,307万円
老人保健	0円	77万円
後期高齢	1億1,852万円	1億1,933万円
介護保険	13億0,996万円	12億5,855万円
簡易水道	2億0,164万円	2億1,621万円
下水道事業	3億6,834万円	3億7,921万円
農集排水	2億8,806万円	2億8,424万円
病院事業	20億0,663万円	20億1,571万円
合計	54億5,435万円	53億5,709万円

議案審議

3月16日、予算案に対し自由質疑を行いました。その一部を掲載します。

自由質疑



4月4日残雪の多いマウンテンパーク



津南アスパラの収穫体験をする子どもたち

施政方針。予算を問う

観光応援団、観光大使の設置の考えは

草津 進 議員

問 津南町の観光動態をどのようにカウントしているか。また観光応援団、観光大使の設置の考えについて

町長 3ヶ月おきに観光関連施設からの報告やイベントでの入込み状況をカウントして集計している。誘客宣伝活動として今後は関東方面だけでなく中京、関西方面に魅力情報を発信する計画である。観光資源を宣伝してもらうため観光応援団大使の設置は重要である。良い人材や団体があつたら今後任命していく。

臨時職員の待遇改善は

大平謙一 議員

問 町の正職員と臨時職員数は同程度。仕事の内容に大差はなく待遇は大差です。専門的な仕事をする人は大事な人

観光施設の持続について

問 観光施設の経営診断とあるが、どの施設をするのか、またそれをどのように活用するのか。

答 経営診断を考えているのは、マウンテンパーク津南、龍ヶ窪温泉、リバーサイド津南、萌木の里の四箇所を予定しているが、観光施設検討委員会で議論し決めた。活用方法としては、診断する事により運営方法や町からの補助削減などの検討に役立てたい。委託先としては日本中小企業診断士協会、新潟県支部に問い合わせをしている。

材。安定した雇用とすべき。

町長 個人委託契約をやめ臨時雇用とした為、大幅に増員となった。職種により賃金格差を設けている。今年基本賃金を引き上げ予定はないが、忌引きの特別休暇、年時休暇の繰越、一部職種の手当では改善する。

津南町認証米野菜の統一ブランド販売は評価

滝沢茂光 議員

問 町内の優れた技術力と知恵の結集と活用が成功へのカギ、様々な課題も出るがそれを克服する力も問われる。

町長 売るためのPRからお買い上げいただくPRへと致したい。
地域振興課長 議員指摘のように優れた農業者の力を統一的技術に、県の技術陣、JA津南町、集荷業者の力を総結集した取り組みとしたい。

デマンドバス運行について

問 津南タクシーが4月より営業を取りやめるが、その後はどうするのか。

答 委託先は、森宮交通にお願いしている。

定住対策について

問 おためし体験住宅の取組は

答 昨年は希望がなかったが、1回くらい津南町に来てもなかなか移住、定住には結びつかない。その中で1週間とか1ヶ月とか短期のおためし定住体験してもらう制度で、1泊概ね3,000円程度を予定している。期間については相談をしていただきたい。

政策実行能力とは

藤木正喜 議員

問 自分で考え、自分で実行し、自分で責任をもち、政策立案能力、政策実行能力を高めていくと言うが、全く同感であるが、現実はどうであるのか。

町長 国・県の有利な補助金確保が必要であり、財源調整能力が必要である。一括交付金への移行に期待する。

住宅改修補助金を町内流通商品券に

大口 武 議員

問 下水道へのつなぎ込みを含めた住宅改修事業補助金を町内流通の商品券に出来ないか。また、震災後に事業の見直しの考えが表明されたが、それは被災地優先と考えるかどうか。

町長 改修事業をする町民の理解が得られれば検討する。見直しについては被災者優先の方向が強まっている。



よろしくお願い致します

税の滞納について

問 現在、津南町では、滞納税の徴収方法をどのように取り組んでいるのか。

答 津南町は今までやさしい徴収をやっている。平成19年の税源移譲を境に、1億円を超えた。これからのような圧縮方法があるのか難しいが、とにかく細かく滞納者に対して相談に乗るよう

有権者が投票しやすい環境に

藤ノ木浩子 議員

問 選挙投票所が30か所から16か所に削減され「遠くになって大変だ」の声が多い。高齢化に逆行している。有権者が投票しやすい環境にする事が選挙の役割ではないか。

選挙管理委員長 人口の流出減少など情勢にあわせ検討したが、不平不満があれば見直しをしていく。選挙法では市町村の区域は選挙が決めやすい。



全戸の継ぎ込みを待つ終末処理場

務めている。今後、会社に勤めている人の滞納があれば事業所をお願いして給与からの徴収や、天引きをしてもらいたい。翌10日までに支払ってもらおう特別徴収義務者（事業所）制度があり、現在のこの制度を行なっている所は全体の34%くらいで、50%くらいにしたい。21年〜23年度の期間、県がリーダーシップを取り津南町・十日町市・魚沼市・南魚沼市・湯沢町と任意組織を南魚沼市の県振興局内に作り、町も一人派遣している。その組織に高額の滞納者をお願いし、1,300万円の徴収にあたってもらっている。2月末の収納率が44%（580万程度）と成果が上がっている。この組織は23年度で終わるので県に継続するよう要望をしている。またどうしても払えないという人は減免条例もあるので相談してほしい。滞納者についてはほとんど差し押さえをすればいいのかもしれないが町では、やさしく対応している。その反面、滞納者（額）も増えている。

(6号・7号)

22年度一般会計補正予算

6号補正では、地域活性化交付金等の増額補正と、7号補正では地方交付税の確定に伴う歳入6億9,622万2千円を追加し、総額69億4,227万1千円が審議され賛成多数で可決された。

歳入		歳出	
地方交付税	5億2,263万1千円	議会費	2万3千円
分担金	△50万1千円	総務費	3億8,172万2千円
国庫支出金	8,824万6千円	民生費	6,373万5千円
県支出金	2,105万円	衛生費	1億3,108万1千円
財産収入	3千円	農林水産業費	2,047万1千円
寄付金	76万9千円	商工費	289万8千円
繰入金	303万円	土木費	6,476万1千円
繰越金	2,082万1千円	消防費	394万9千円
諸収入	1,470万6千円	教育費	3,158万6千円
町債	2,546万7千円	災害復旧費	△798万円

主な補正内容

- **総務費**
住民生活に光を注ぐ基金積立金 1,792万円
財政調整基金積立金 3億7,379万9千円
- **民生費**
国民健康保険特別会計へ繰出金 6,371万9千円
- **衛生費**
病院整備費 1億2,961万1千円
- **農林水産業費**
県単農林水産業総合事業補助 1,701万9千円
- **商工費**
観光費(地震対策応急費) 277万7千円
- **土木費**
町道改良舗装工事 5,800万円
地震対策応急修繕料 1,500万円
下水道事業特別会計繰出金減 1,470万5千円
- **消防費**
地震対策応急修理委託料 100万円
災害復旧支援費等 294万9千円
- **教育費**
小学校施設整備費 1,470万5千円
中学校施設整備費 1,112千円
巡回文庫用自動車購入 950万円

22年度特別会計補正予算

- **国民健康保険特別会計**
補正額 608万8千円
総額 11億7,377万5千円
(主な内容) 被保険者高額療養費の負担増
- **老人保健特別会計**
補正額 10万円
総額 292万9千円
(主な内容) 一般会計へ繰出金増
- **介護保険会計**
補正額 1,000万円
総額 13億4,736万1千円
(主な内容) 介護サービスマス等給付費
- **簡易水道特別会計**
補正額 922万5千円
総額 2億2,609万9千円
(主な内容) 事業運営基金積立増等
- **下水道事業特別会計**
補正額 628万6千円
総額 3億8,356万9千円
(主な内容) 施設災害復旧委託料等
- **農業集落排水事業会計**
補正額 1,340万円
総額 2億9,714万4千円
(主な内容) 施設災害復旧委託料等

討論

平成23年度一般会計、特別会計に対する討論を掲載します。

一般会計

賛成討論 栗原 洋子

住民の福祉やくらしを守る点で、保育料の軽減、福祉施設の建設、国保料の据え置き、子宮頸がんの予防接種、住宅改修補助の継続、鳥獣被害防止対策、津南病院を守る姿勢などを評価し賛成とする。

賛成討論 草津 進

町民所得の向上、雇用の場の確保、若者定住の促進、福祉、医療、子育て、教育、安全(インフラの整備)、高齢者世帯への雪対策助成の拡充、高齢者、障がい者の安心(グループホームの建設支援)等健全財政を堅持しながら住民負担の軽減が図られているバランスの取れた予算編成に賛成とする。

病院事業会計

賛成討論 伊林 康男

地域特性を活かした、プライマリケアと予防医学を運営の基本として、介護や終末期医療にも配慮した「地域に信頼され安心して受診できる病院づくり」を目指して、医師、職員一体となった経営で地域住民の安心、安全、命の尊厳を守りぬく本予算に賛成とする。



院内での血圧測定で安心・安全

介護保険特別会計

反対討論 藤ノ木浩子

介護保険の問題点は、特養待機者の増加、利用料、保険料の重い負担、介護職員の人材不足解消には、労働条件の改善が不可欠であること、これら課題解決のため制度改善を国に求め、町も努力して頂きたい。

今年建設のミニ特養小規模多機能居宅介護施設のサービースに期待している。



地域行事にも積極的に参加の恵福園中津の皆さん

下水道継ぎ込み促進策は

町長・低利融資や住宅改修補助を今年も実行

大平 謙一 議員

加入率を上げ、 使用料引き下げすべき

問 未加入者の未加入理由の分析は、建設課長 未加入理由調査は1,159件で調査の結果は回答829件、回答率71%だった。平成25年までに接続予定者が139人、接続できなかった理由を上げた人が690人で理由の一番は工事費が高い、経済的に余裕がない303件、更地で接続の意味がない150件、浄化槽がある43件、使用料が高い27件等となっている。90%の加入は可能であると思う。料金引下げは現在1㎡当り150円から200円が多い。基本料は10㎡程度、維持管理費を割ると300円以上となり引き下げは無理と思う。しかし下水道事業は環境改善が目的であり、未加入者に協力を求めたい。また、未加入者は掌握している。

町長 雪害対策本部設置基準は町の累年平均最高積雪量は昭和50年より30年間の平均は281cmで県の災害救助法適用は1.3倍の365cmとされる。町単独災害対策本部は県に合わせ私が決める。今回の豪雪に際し町の観測点1か所でも超えたら条例適用を求めたが間に合わなかった。倍率の緩和を町議会や特別豪雪地帯市町村協議会等、関係団体と連携し県要望していく。



都会の人には想像もつかない雪の高さ

雪害対策本部設置基準 見直しを

問 基準の積雪は自治体によって異なるが高齢化社会に対応した積雪とすべきである。

農産物取扱計画と実績との差が大きい

町長・農産物認証制度がスタートする

藤木 正喜 議員

農業振興政策が 間違っているのでは

問 22年、JAの農産物取扱計画では36億8,800万円で実績は33億9,600万円と約3億円の減である。23年度の総取扱計画は32億9,500万円とさらに低下しているが今までの農業振興策が間違っていたのではないのか。

町長 米だけでは2.2億円の減少となっているが、米以外の農産物は前年比プラスとなっている。減反政策が100%実施された場合、魚沼産の米販売も難しい状況である。

問 農産物認証制度や雪中貯蔵施設で今後の農産物販売の具体策は。
町長 雪中貯蔵施設を使い、電気エネルギーを使わない環境を前面に出しての付加価値販売を目指す。秋野菜の人参、キャベツ、ゴボウなどの特産化を考えている。

TPP（環太平洋経済 連携協定）問題について

問 TPP参加は反対との意見であるが、仮に国がTPPに参加したとしても実際の関税の自由化には今後10年間が必要と言われている。

町長 日本の農業を壊滅的な打撃を与えるばかりではないし、農業だけの問題ではない。参加を前提とした考えは持っていない。



雪室に期待したい農産物販売

家庭教育・子育て支援の施策について

町長・一体的支援の為の行政組織の構築

伊林 康男 議員

総合振興計画の児童館の 建設について問う

問 幼児教育から成人教育まで重要な施策は何か、また児童館の建設について伺う。

町長 私は7月の就任以来やさしい津南づくり、特に医療、子育て支援、教育支援等子どもたちにとって、より安全な環境の中で、安心して育てられる社会づくりの実現に力を入れて参りたいと考えている。子育て、教育支援では保育と小学校の連携機能強化を図るため、行政、学校、保育園の一体的な会議の開催、不登校対策には新たな教員配置、相談員の配置を講じてきた。

また、従来から教師こそ最大の教育環境であることを強く考えていることから、教員確保に困難な地にあつて今後優秀な教員の確保に努めて参りたい。江戸時代の子育てに関する言葉で、三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二・文、十五・理、未決まる。三つ、六つは家庭教育の範ちゅうであり、家庭が全ての教育の出発点であり、子どもの発達段階に応じて社会と関わり、社会性を身につける。また、基本的な生活習慣の



子供は津南の宝

育成、コミュニケーションによる周囲の人々との絆を深めるなど人格形成上、重要な役割を担っている。一方では、地域社会で家庭教育を支える仕組み作りが重要である。

教育行政がそうした支援は当然である。津南町総合振興計画にある児童館の建設構想はその一環に位置するものである。早い時期に子育て支援、教育支援を一体的に支援するトータル的な機能を持った行政組織を考えている。

大割野へ大型ドライブイン構想を

町長・中心地の空洞化には憂慮している

滝沢 茂光 議員

町の活性化のカギは 中央部の活性化が不可欠

問 大割野地区の再生に空き店舗や空き家を町で買い求め、再開発に備え準備してはどうか。現在の大割野地区は車社会を受け入れない姿となっている。大型観光バス等が気軽に立ち寄れる、また寄つてみたくなる姿に変え、津南観光の拠点とすればグリーンピア津南やマウンテンパーク、秋山郷の中継基地となり、まずそこに立ち寄りお土産を買い、休息もできる、おもてなしもでき、又お帰りの際にもお立ち寄りもできる所となる、つなぐ大型ドライブインを造つてはどうか。

町長 提案が実現した時に投資効果が上まわるかがカギとなる。一方、津南町中心地の空洞化は憂慮している。

地域振興課長 駐車スペースは造れるが、運営は地域住民による活用がなされなければならない。

問 山間集落の活性化のポイントは。
町長 生活環境の良さ、人情味の豊かさ、若者との交流を通じ活かされればと考える。



求められる中心地の再生

ついに熊による 人的被害発生

問 熊の人間社会への恐怖は凶り知れない。学習放獣は頭数を増やし栄村にも迷惑をかけている。山熊はともかく里熊は捕殺すべきだ。又、現況の狩猟は趣味やスポーツではない。後継者は作物社会を守る立場の町とJAと農業者が一体で育てる必要があると考えるが。
町長 わな免許育成10名、狩猟免許者1名へ助成したい。

地域振興課長 学習放獣は、研究には意義があり、県は保護管理計画を作成、保護頭数を示す予定。この事は町が申し入れて行う様要請したことである。



デイサービスでのひととき

問 高齢化が進む山間地の農地において耕作放棄地が進んでいる。受益者負担の少ない基盤整備が必要と思うが。また、条件付での企業の農業参入の考えは。

町長 山間農地の耕作放棄地解消は長期的な耕作予定者の目安がつけば積極的に再生を進めて参りたいと考えている。小規模な土地基盤整備も町単独事業、国県の補助事業を活用しながら要望があれば積極的に進めてきた。

企業の農業参入を促進するための研究会を立ち上げ、検討したが参入には至らなかった。農地法改正を受け、町としても純粋な思いで農業参入をしようとする企業かどうかを見極め、積極的に対応して参りたいと考えている。

町長 高齢化が進んだ集落の共同作業が年々厳しさを増していることは承知している。国も中山間地域直接支払制度等打ち出したところであり、それらの事業を活用頂くなかで、農道や水路管理を進めて頂くと共に、町も積極的に支援して参りたい。

山間地農業の再生と後継者育成策は

町長・町単・国県補助事業を活用し進めて参りたい

河田 強一 議員

問 高齢化が進む山間地の農地において耕作放棄地が進んでいる。受益者負担の少ない基盤整備が必要と思うが。また、条件付での企業の農業参入の考えは。

町長 山間農地の耕作放棄地解消は長期的な耕作予定者の目安がつけば積極的に再生を進めて参りたいと考えている。小規模な土地基盤整備も町単独事業、国県の補助事業を活用しながら要望があれば積極的に進めてきた。

町長 山間農地の耕作放棄地解消は長期的な耕作予定者の目安がつけば積極的に再生を進めて参りたいと考えている。小規模な土地基盤整備も町単独事業、国県の補助事業を活用しながら要望があれば積極的に進めてきた。

町長 農業後継者の育成は重要課題と考えている。農業が他産業並の所得確保が可能な産業となれば、農業後継者の確保は自ずと進むと考える。農業の将来ビジョンを描きにくいことも後継者不足の要因と考える。一つずつ活性化に繋げる政策を積み上げ、国に対しても農業の力強い将来ビジョンを示すよう、強く求めて参る所存である。



高齢化とともに増える耕作放棄地

介護保険料への影響はどのようになるか

町長・月665円増の標準額は4,915円の見込み

藤ノ木 浩子 議員

問 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

町長 23年度福祉法人が建設する地域密着型介護施設は、特養待機者解消に向けての一步となるが、施設整備は介護保険料にはね返るしくみだが保険料への影響をどうみているのか。

戸別所得補償制度をどう考えるか

町長・不十分な制度と考える

根津 勝幸 議員

ばらまき制度を

どう思うか伺う

問 与党の目玉でもある戸別所得補償制度は、広く薄くのばらまき制度であり価格支持政策から所得政策への転換を図るといふ政策目的からすると、生産調整の仕組みを残し矛盾している。町内の達成率と経済効果はどうであったか。町長はこの制度をいかに考えか。

町長 制度への加入者784人、面積で581ha、転作割り当てに対して122ha不足で達成率74%。この制度について農家所得方式に道筋をつけたことには一定の評価をするが、これにより稲作農家が好転するとは考えていない。特に水田の3分の1以上を転作する中で転作部分の補償水準が十分でないこと、米価下落時の補填が全国一律であり、価格変動が大きい魚沼産コシヒカリではその補填が不十分のため、現行制度では転作による所得確保は難しいと考える。この制度による交付総額は定額部分で8,700万円、変動部分は60キロ当たり1,715円で8,700万円、3月末の交付額が予想される。



津南米をブランド化に期待

津南町農産物認証制度について

問 町農産物認証制度の監理、監督責任は町にあると思うが。

町長 認証米は4つの条件があると考えられる。1の特別栽培米や2の検査基準は国の通達や法令で定められた検査がある。3の米選機や4の蛋白値の調査は米集荷業者からの報告に基づき町が検査を行うという方法で進め、最終的な監理、監督責任は津南町にあると認識している。

豪雪対策基準見直しと観測点について

町長・国、県に見直しを働きかける

栗原 洋子 議員

農業・産業も含めた生活実態にあつ基準見直しが必要

問 津南町の積雪量観測点は役場、結東、上郷中の3カ所である。気象庁アメダスが設置してある標高400m地帯には広大な農地がある。観測点も含め生活実態に合う基準見直しを国や県にも要望していただきたい。

町長 3地点が基準に達しないというあり方について県とは是非論している。地方分権の中で柔軟にできるならもつと効率的に執行できる。農業に対する救済は対象になつていない。

建設課長 観測点を変更することは、国、県の見直しがあれば当然変更できる。

問 春先における雪消えの遅延対策について伺う。

総務課長 4月1日時点で、積雪1メートル以上と見込まれるときに、3月時点の判断で、消雪剤の散布等に県補助事業が適応される。今後の降雪や気温の状況をみて対策を考えたい。

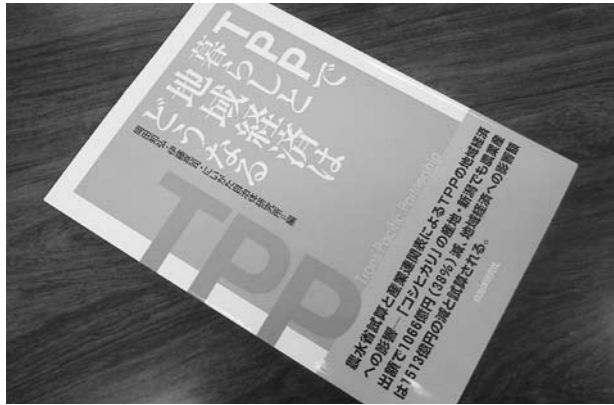
問 公共交通である乗合いタクシーの検証と利用実態は

問 乗合タクシー(デマントバス)について大変便利に利用しているが、利用実態と改善点、見直しなど伺う。

総務課長 バスは4月12月まで4路線のべ8,909人から利用いたいた。1日30人乗車率1.61人である。乗合タクシーは自宅付近が乗り降りの場所であり、お年寄りに優しい公共交通を今後も安定した制度としたい。時刻表については見やすい形で可能な限り検討させていただく。



冬は特に乗り合いタクシーは便利だの～



米どころ新潟から問うT.P.P

問 TPPについては情報不足で私自身も分かっていないと言えないので勉強会を開くのは大賛成である。T.P.P.への参加賛成、反対にかかわらず、関心のある方が学びあうことは大切なことと思うので講師など調査したい。

町長 TPP参加阻止には日本全体で国民の声としての反対が重要であると思う。

問 TPP参加に町長は断固反対と表明されているが、一方新聞大手全国紙はそろってT.P.P.推進のキャンペーンをはっており、町民はとまどっている方も多いと思う。T.P.P.に関する学習会を開いてはどう思うか。

町長 TPP参加阻止には日本全体で国民の声としての反対が重要であると思う。

町長 例外なき非関税であれば日本の稲作は崩壊し、畑作物も大幅な価格下落を招く。雇用は海外からの安い労働力の大量流入による雇用不安。保険、金融でも預金者、被預金者の保護がどこまで適用されるのか懸念される。医療も医師免許の共通化による医療事故の対応など住民生活全般に大きな影響が心配されることである。

町内では工業も含め輸出関連の業種は少なく、輸出の関税が撤廃されてもメリットは考えにくいと思う。

町長 TPP参加に町長は断固反対と表明されているが、一方新聞大手全国紙はそろってT.P.P.推進のキャンペーンをはっており、町民はとまどっている方も多いと思う。T.P.P.に関する学習会を開いてはどう思うか。

町の農業や他の産業はどうなるのか

問 TPP参加は食料農業が大打撃を受けるなどの物品の関税をゼロにするだけでなく、「非関税障壁の撤廃を目指す」としている。B.S.E、食品添加物、残留農薬、原産地表示などの規制緩和など交渉が行われているが、医療、雇用、金融、その他地域、町にどのような影響があるとお考えか。

T.P.P.についての学習会を

町長..勉強会は大賛成、早速調査する

大口 武議員

地域観光と行政について

町長..広範囲に津南を宣伝してゆく

中山 弘議員

地域あげての観光作りは

問 近隣市町村との連携が大事であるが、津南全町、観光地意識を高める具体案はあるのか。

町長 奥信越観光の誘客活動は重要であり、津南観光小冊子を作成し全戸配布も考えている。関東、中京圏への誘客宣伝は今後もマスコミ協力を願って、津南ブランドを数年続ける。

問 国民人口減少するなか外国人観光客の誘客の進めは。

町長 内モンゴル自治区とNGP津南との姉妹協定を提携した。今後もアジア方面からの入込み客は増えてきており、民間、行政共に交流を進める。

問 環境に優しい町(カーボンオフセット含む)、人づくりの考えは。

町長 グリーンツーリズム等進める中、外部からの子供達にも自然環境を伝え、大地の温もりを感じ取って頂きたい。

問 携帯端末の時代が来ているが町の取組みは遅れていないのか。

町長 GPS等活用し安心安全な暮らしを実現する為に、使えるものは積極的に取り入れる。



職員研修での小樽の雪明り

行政と職員教育の方向は

問 行政事務の内容を開示する心づもりは。

町長 町議会の情報公開は一義的には議会の統一した意見を持つことが肝要である。

問 町作りは人づくり、職員教育のあり方は。

町長 職員研修は観光研修も含め積極的に派遣している。職員のキャリアアップを図り、地域の中の活動者と共に町づくりをする人材育成を進める。

山間地集落の維持、支援策は

町長..できる限りの支援をする

恩田 稔議員

集落機能の低下に歯止めを

問 住宅から道路までの除雪もできない高齢者世帯が増えている。どのように対応していくのか。

町長 お年寄りになっても、住み続けたい気持ち尊重し、行政も積極的に支援をする。しかし限界もあり、集落内での助け合いも進めてほしい。

問 山間地集落では、条件不利地が多く、耕作放棄地が増えている。基盤整備に支援はできないのか。

地域振興課長 山間地集落の直接支払制度の不公平感も理解している。条件不利地に対して、モデル的な取り組みを検討している。

問 環境整備事業、現行の補助率では、事業を先送りせざるを得ない高齢化集落が増えている。高齢化率などを勘案し、山間地集落には最低50%、見直しは考えていないか。

地域振興課長 中山間地直接支払も含めて、集落全体の維持管理を検討する中で、補助率の見直しも考える。

観光と交流について

問 北陸新幹線の開業に合わせて、取り組みはされているのか。

町長 基本は、信濃川ラインの飯山市、野沢温泉村、栄村、津南町、十日町市の行政で組織を検討している。さらにJR、県等と積極的に進めている。又、中京、関西圏への売り込みを推進する。



こんな事も耕作意欲を欠いてしまう

子供達の不登校は

町長..対策費にませをかけない

大島 知美議員

県への教師加配要望の考え方は

問 上村町長は就任直後、県教育委員会に、不登校対策として一名の教師加配を要望し加配を受けた。その加配要望をした考え方はどうか伺う。

町長 中学校の不登校発生率が非常に高い数値で経年推移している事に危惧を感じている。この問題は教育そのものを考えさせられる事でもあり、何としても早く対策を出さなければならぬと強く感じた。そこで県教育委員会に相談し協議をしていただいた所、すぐに実行に移すように提案をもらい、加配が実現した。

問 加配後の取組みと現状はどうか。

町長 県では不登校の根が、既に小学校にあるのではないかと云うことで小学校に配置をしていただき、教員が一名増えたので校内のベテランの先生より担当していただいている。

問 ベテランの先生はどのような活動をしていただいているのか伺う。

教育長職務代理者 適応指導教室の充実を図りながら、保育・小学・中学を廻りながら今後のより良い対策を考



友達！友だち！ともだち！



阿智村役場にて若者定住策を研修

Committee 委員会レポート

report

条例改正

◆津南町特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 町政新体制になった事により、特別職報酬審議会が開かれ給与改定が行なわれた事による改正（全員賛成）

◆津南町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 町政新体制になった事により、特別職報酬審議会が開かれ給与改訂が行われた事による改正（全員賛成）

◆津南町地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

要旨 住民生活にとって大事な分野である地方消費者行政、DV対策、自殺予防等の弱者対策、自立支援、知の地域づくりに対する取組の強化を図るための基金設置条例（全員賛成）

◆津南町在宅介護手当支給条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 今までの「基本的な動作（歩行・入浴・食事・排泄

及び着替えをいう）のうちいずれかに全介助を必要とする者」を「食事排泄及び着替えの動作のいずれかに全介助を必要とする者、介護保険法の要介護認定を受けている者で要介護3以上の者」に改める（賛成7・反対8・不決）

請願陳情

意見書

◆豪雪地における除雪経費の軽減措置を求める意見書の提出について

要旨 議員発議による融雪屋根の熱源代を雑損控除対象とすること。店舗・農地・農業用施設などの除排雪用軽油については課税免除とすること。結果全員賛成で採択

◆高齢者・国民が安心して医療や介護が受けられるような施設推進を求める意見書

要旨 国民の命と健康に関する施策推進にあたっていただけるよう、医療・国保・介護保険・各制度に対する要望。結果全員賛成で採択し意見書を提出

決ったこと

◆指定管理者の指定について

◆契約期間満了につき更新・管理施設、津南町健康増進施設（クアハウス）

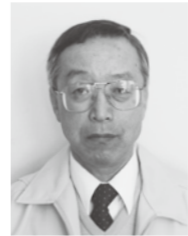
・管理者、社会福祉法人苗場福祉会

◆町道の認定について

◆大倉バイパス開通につき旧国道払い下げ予定につき小下里、段野線（1,199.1m）

人事

◆監査委員の選任同意について
任期満了につき選任（全員賛成）



津南町大字外丸 中島 豊 氏

◆津南町教育委員任命の同意について
教育委員欠員につき任命（全員賛成）



津南町大字中深見 桑原 正 氏

「下条村」の概要と特徴

人口4,163人（2010年）、高齢化率28.8%、面積37.66km²。下条村自立宣言によれば、ここ10年来の徹底した行政改革と資材提供や合併浄化槽等の村民参加の促進によって、仮に地方交付税が4割削減されてもゆるぎない財政体質となつています。



下条村の若者向け住宅を見学

振興計画の理念

○機能的で快適な、活力あるまちづくり
○安心安全で、魅力溢れるまちづくり

第1回臨時議会

3月28日開催

◆津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議会事務局書記 人事

お世話になりました



桑原 次郎

よろしく申し上げます



滝沢 直樹

ヒトの脳からはPMAフェノールメチルアミン」というホルモンが分泌される。好きなタイプの異性にワクワクドキドキ感を創出させる働きがあることから、別名恋愛ホルモンとも呼ばれる。議会での4年間ワクワク感はともかくドキドキ感を度々味わうことができ、その都度自分を成長させてくれたように思う。自治法が議会・行政に牽制と協調の相反する関係を同時に求めている以上、事務局の苦悩と奮闘は宿命といえる。いっしょに働いた事務局の皆さん、そして何より議員方々に心から感謝したい。

この度、教育委員会事務局から議会事務局へ異動となりました。まさか自分がこのような役目を仰せつかるとは思いませんでした。初心を忘れず新天地で努力する所存です。

職員となり18年、アラフォーと呼ばれる年代になりましたが、まだまだ若者者です。議員の方々に迷惑とならないよう努めてまいりたいと思います。

趣味は音楽鑑賞（ロック）、読書（ジャンル問わず）にお笑い番組鑑賞、今後ともよろしくお願いたします。

「民生児童委員との懇談会」

とき／9月22日
会場／役場3F
内容／高齢者部会・障がい者福祉部会・地域福祉部会・児童福祉部会等4部会の質疑応答と意見交換、並びに要望。
「保育園長との懇談会」
とき／11月19日
会場／役場3F
内容／各保育園の現状と課題、問題点及び要望事項について。

「教育委員会・社会教育委員会との懇談会」

とき／1月21日
会場／文化センター
内容／津南町の家庭教育をどのように進めたらよいか。生涯学習の推進についての取り組みについて。今後の教育委員会、社会教育委員会、生涯学習推進会議との連携強化について。
「津南病院との懇談会」
とき／2月16日
会場／津南病院
内容／津南病院の現状と課題について。持続可能な地域医療機関としての津南病院の今後の経営と指針について。以上について、意見交換を行いました。



津南町

「友の憂いに我は泣き、我が喜びに友は舞うこんな友情、今の世だつて必ず育つよ」と生徒によく言った。自浄作用があった、かなり荒れた学校を良くしたのは生徒達だった。「みんなの失敗は山下の責任だ、俺のポケットにはいつも辞表が入っている」未熟な私を職員が見事にカバーしてくれた。

「トップの人は成績が下がると言う心配がある、でも君は成績が上がるという大きな楽しみがあるじゃないか」成績が悪いと泣いていた彼女は、少し表情が明るくなった。「食べ物食うものであって、理屈や知識ではない」ウマイ山菜とよく酔える酒、何よりも生涯付き合える友が大きな財産だ。

生徒指導で悩んでいたとき、最も頼りになったのは常に厳しい意見を吐く保護者だった。気がついたら、もう20年、自然体をつらぬかさせてもらった町に心から感謝！そして大好き津南バンザイだ。

山下先生は20年もの間、津南のためにいろいろと尽くしてくれました。好きな津南のために町営住宅に住み、酒を飲み交わし、語り合い、何かあれば夜中でも相談のつてくれました。

荒れた中学校を1年で立て直し、全国駅伝大会に3回連続出場、伝統のスキーでの大活躍、最難関校への多くの合格者と数え上げればきりがありません。

退職されてからは津南に残り、教育委員、子育てに悩む親たちとの塾、津南のおじいさんとして親しまれたことばのキャッチボールはあまりにも有名です。

津南が好きで津南のために20年も頑張ってくれた先生へ「津南の真心」を町全体としてお礼の形にすることはできないでしょうか。

(4月12日津南町 ほう賞規定により表彰されました。)



長野県北部地震被害状況 3.12

3月12日の長野県北部地震で震災された町民の皆さんの相談窓口が開設されました。困った事や相談事がありましたらお気軽にご意見お聞かせください。



路肩が崩壊した田中地内



不通となった飯山線・小島地内

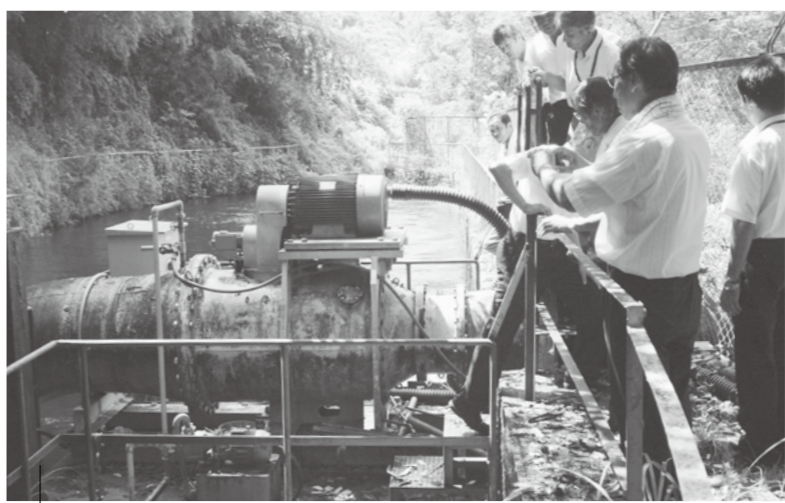


卒業式の会場が変更になった体育館・上郷小学校

産業建設常任委員会

津南町農業改良会議

■とき／4月14日
この会議は、町・十日町地域振興局・高冷地センター・JA農業生産者団体等農業関係者が一同に会し、毎年その年の事業内容を発表し、協議をする会議です。



最大出力37kwの群馬県中条町の温川発電所

委員会所管の事業成果巡視

■とき／4月30日
21年度中に行われました、建設課・地域振興課の工事状況等視察を行いました。

公共土木関係上部陳情

■とき／5月30日
公共工事に対する要望を県土木部長に要望をして参りました。

要望内容

- 国道117号線大倉トンネル早期完工
- 国道405号線改良工事及び防災工事の促進
- 主要地方道小千谷・十日町・津南線改良工事の促進
- 県道加用・今新田・停車場線(相吉地内)早期改良
- 県道中深見・田沢停車場線(所平地内)早期改良
- 釜掘川改修工事の促進と早期完工

県外視察

■とき／8月23日～24日
1日目は東京電発(株)水力事業部の稲垣部長の案内で群馬

県内の小水力発電所2カ所を視察いたしました。

○中之条町温川発電所

特徴としては一度発電に使った排水を利用し、排水路と川との落差を利用し発電を行っています。また、水面より高い位置に水車を設置してあるのが特徴です。(水量毎秒1.5、有効落差4.5、最大出力37kw)

○高崎市若田発電所

特徴としては上水道の導入水を利用し、発電を行って管水路内の水面を上昇させ発電に必要な落差を確保しています。(有効落差20、最大出力78kw)

最後に高崎水道局において固定価格の買い取り制度や太陽光発電の今後の取り組みについてレクチャーを受けました。

2日目は長野原町の八ッ場ダムを見学。中之条町(旧六合村)の道の駅農産物直売場、長野原中野市の北信州農産物直売場を見学いたしました。

作況調査

■とき／9月14日
津南全域の農作物の作況状況を回りしました。畑作物

は概ね良好のように見受けられました。水稲ではこの時点でも高温障害が確認された所もありました。

東京電力(株)との懇談会

■とき／11月16日
東京電力の社員の方々から出向いて頂き、西大滝ダムからの放水量について懇談をいたしました。放水量20については、信濃川中流域検討協議会の提言を受け、東電で経営判断をしたとのことでした。

観光協会との懇談会

■とき／1月17日
観光協会の理事の方々や津南町観光の今後のあり方について意見交換を行いました。

農業委員会・JA津南との三者懇談会

■とき／1月16日
それぞれの立場から今後の津南町農業について意見交換をいたしました。

道路除雪状況調査

■とき／2月4日
豪雪に伴い、町内の道路除雪状況並びに危険箇所等視察いたしました。

建築協議会との懇談会

■とき／2月10日
住宅改修補助事業の実績報告がなされ、2年間総事業費3億8千万円、件数では323戸にも上り、今後も継続を要請されました。



相吉原の野沢菜畑の収穫を視察

シリーズ・町民の声 **私も一言**



支えあうことの大切さ



陣場下
高橋 洋子さん

平成20年8月より議会事務局の臨時職員として大変お世話になりました。わずか2年半の間には議長の交代、現職議員高橋満男さん死去、そして元津南町長の村山正司さんの死去。昨年は20年間の小林町政から上村新町長に、津南町の新しい歴史が綴られる時、様々な場面に立会い、貴重な経験をさせていただきました。しかし、3月11日、12日の東日本大震災、栄村、津南町、十日町市を襲った地震、現実とは思えない映像が

毎日報道され、心が引き裂かれる思いです。不安は誰もが持ち合わせていると思いますが、どんなに小さなことでも言葉にして伝え、抱えこまないことが心のケアになると思います。一人の力は小さなものでも、知恵を出し合い支え合うことはできると思っています。東日本大震災の犠牲になられた方々のご冥福を祈り、被害に遭われた方々の一日も早い復興を心から望みます。

津南町に住んで



谷内
寺尾 照美さん

私の家の前には自販機、JAの赤沢店舗やATMがあり、谷内の住人にもかかわらず赤沢の集落除雪をお願いして便利な津南ライフを送っていますが、10年前の5月に私が神奈川から越してきて感じたことは、自力の移動手段がないと不便だということでした。それまで電車やバスに頼っていた私は自転車にも乗ったことがなかったので、高校生と一緒に教習所で講習を受け、特訓の末に何とか原付免許をとりました。

話は変わりますが長野県北部地震の後、道路を走ると波打ったり亀裂が入ったりで雪が消えてから現れる被害も考えると復旧には、相当な時間もお金もかかるだろうと思いました。町内には赤や黄色の紙が貼られた家もあり田畑の被害もあると思います。中越地震の震源地・山古志が、まだ完全に復興しているとはいえないことを思うと行政や議会の方々にご尽力いただき一日も早い復興をと願うばかりです。

編集後記

東日本大震災も原発の事故により大変な事態となつていますが、何よりもこの地域において、震源地が津南町とも言われている地震が発生し、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

確かな情報を知ることが大事なことだと思つていますが、どうも原発の情報は知識不足と重なつて、どこまでが確かなのか、その先はどうなるのかなど良くわからないことが多い。ただ、大変なことになっているという事は理解できます。暗いニュースばかりですが、本年度の町内小学校の新入生児童は80名。
この子供たちを取り巻く保護者の方はもちろんのこと、兄妹、おじいちゃんおばあちゃんやお隣ご近所大勢の人に幸せ感を与えてくれていると思つと心も和みます。(根)